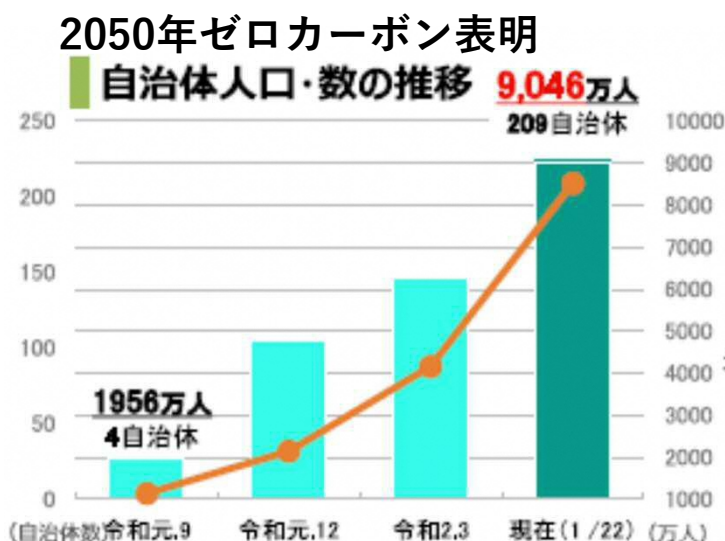


世界首長誓約・ゼロカーボンシティ表明について

気候変動に伴う自然災害が顕著となる中、こうしたリスクの低減により一層取り組むことが重要と考えることから、2020年12月1日、パリ協定の達成に向けて積極的に取り組む自治体が加盟する「**世界首長誓約／日本**」に市長が署名するとともに、2050年までの二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「**ゼロカーボンシティ**」の実現を目指すことを表明しました。



新潟県内のゼロカーボン表明自治体（2020.2.2現在）：

佐渡市、粟島浦村、妙高市、十日町市、新潟県、**新潟市**、柏崎市（表明日順）

世界首長誓約の内容：持続可能なエネルギーの推進、2030年の削減目標設定、強靱な地域づくり、行動計画の策定と実行、2年ごとの計画進捗状況の報告

国内誓約状況：29首長（政令市：京都市、横浜市、広島市、北九州市、岡山市、**新潟市**）

地域新電力会社：新潟スワンエナジーについて

<背景>

- ・ 人口減少 社会における 税収大幅減 や 地域衰退 が今後深刻化
- ・ 地域が生き残ってゆくために、地域で経済好循環 を起こすことが必要



新潟スワンエナジー
Niigata Swan Energy Corporation

<新潟スワンエナジーとは>

設立：令和元年7月17日

資本金：5,000万円

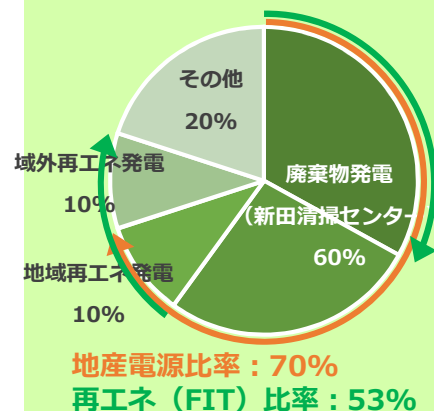
出資者：JFEエンジニアリング(株)

85%、

新潟市 10%、

(株)第四銀行 5%

電源構成（2019年度実績） **地域の再エネ電力**



<新潟スワンエナジーの取組>

調達電源（地域の再エネ発電所）

廃棄物発電
(新田清掃センター)
7,800kW



太陽光発電
(新潟市,
聖籠町ほか)
4,564kW

調達開始予定



木質バイオマス発電
(新発田市)
1,140kW



風力発電
(胎内市・新発田市)
3,910kW

電力供給先



公共施設・民間企業等



RE100を目指す企業等

資金の循環



中央卸売市場への太陽光設置



新潟市美術館・万代島多目的広場の再エネ100を実現

**低炭素な
電力**

**再エネ
100%電力**

エネルギーの地産地消により、再エネ率を高めるとともに
地域外へのエネルギー支出の抑制や地域経済循環で地域の衰退防止を図る